

緑化だより No.225

令和 8年4月号



サクラ‘陽光’

- 季節の花(よもぎ(蓬))
- 水生昆虫の話
(ミズダニ類)
- 小さな世界こけ
(エダウロコゴケモドキ)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内
- 展示会

4月 休園日はありません

ryokka 緑学の森

広島県緑化センター



〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2



広島県
緑化センター
二次元コード

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843 URL <https://ryokka-c.jp>

季節の花

よもぎ(蓬)

「……ほととぎす 来鳴く五月(さつき)の菖蒲草(あやめぐさ)
蓬(よもぎ)かづらき 酒宴(さかみづき) 遊び和(な)ぐれど……」
大伴家持 萬葉集 卷 18-4116 長歌の一部

これを訳します

(……ホトトギスが来て鳴く五月の頃、菖蒲草(あやめぐさ)や蓬(よもぎ)を髪飾りにして頭に着け、酒を飲み、遊んで気分を紛らわそうとするが……)

この歌は奈良時代の天平勝宝元年(749年)5月に大伴家持が帰任した際、長官の館で行われた宴で、久しぶりに会った喜びを表して詠われた歌です。

奈良・平安時代頃から古代中国の風習が伝わり、ヨモギやショウブ科のショウブの強い香りが邪気を払うと信じられており、悪霊から身を守るために頭に飾る習慣がありました。又、香りの強いヨモギを使った餅を食べたり、薬草として利用されてきました。

端午の節句にはショウブとヨモギを髪飾りに着けて宴が行われました。

ヨモギ(蓬)はキク科ヨモギ属の多年草、別名モチグサ(餅草)とも言われています。

私たちの身の回り、日当たりの良い道端などに生える多年草で、本州、四国、九州、小笠原諸島に自生し、琉球列島にはニシヨモギが分布しています。

高さは約1mになり、夏から初秋に淡い黄色の地味な花をつけます。

奈良・平安時代頃から古代中国の風習が伝わり、日本でも香りの強いヨモギを使った餅を、邪気を払う薬草として利用されてきました。

春の若芽は柔らかく香りが良いため、草餅、てんぷら、和え物にして食べられるほか、民間薬として腹痛、健胃、貧血などの薬や、葉の裏の綿毛を加工しお灸に使うもぐさとしても利用されています。(上村)



ヨモギの新芽



よもぎ餅

水生昆虫の話

ミズダニ類

川で生き物観察をしていると、小さな小さな1ミリにも満たない丸い生き物(ミズダニ)が、忙しく動き回っているのが気になっていたため、顕微鏡モードのカメラで撮影してみたところ、肉眼では黒っぽい粒に見えていたものが、実は黒ではなく綺麗な色で模様まであることがわかり、とても興味深かったのでミズダニ類について少し調べてみました。

ウィキペディア(Wikipedia)によると、ミズダニはその名の通り「水の中に住んでいるダニ」で、ダニ目ミズダニ団(*Hydrachnellae*)に分類される水生の群の総称で、なんと!世界に約6,000種以上と極めて多様で、生態学的に重要なグループなんだそう。

ダニ類なので成虫で肢が8本あり、体は一般に球形、卵形または楕円形のものが多いそう。体の大きさは小さいもので0.3ミリ～大きくて5ミリ。

体色は黒ではなく褐色から、黄、青、緑、紫、赤、橙とカラフルで、まるで小さな宝石のような、とても美しい種類が多いのが魅力で、実際に写真のミズダニは同じ場所で見つけましたが、とても個性的な模様で、体のフォルムも異なります。

ミズダニは、ライフサイクルが特徴的で、卵→水生昆虫に寄生→変態→成虫で、成虫はミジンコなどの甲殻類や卵を捕食するというドラマチックな生涯を送っているエネルギー豊富な生き物ですが、一方で環境の変化に対して非常に敏感で、農薬や環境の変化で姿を消す種もいるため、ミズダニの種構成を調べることで、その水域の健全性を測るバロメーター(環境指標)になるとして注目されています。ミズダニの多様性を守ることは、豊かな淡水生態系を守ることに繋がっています。

次に川や池を訪れた際は、ぜひ水面や底をじっと眺めてみてください。そこには、小さな粒のようなハンターたちが、エネルギーに動き回っている姿があるはずです。(西村)



オヨギダニ属(?)



ヒラタダニ属

小さな世界 こけ

エダウロコゴケモドキ

セン類ヒゲゴケ科のエダウロコゴケモドキは雌雄異株。

乾き気味の場所にやや普通に見られるコケで、緑化センターでは学習展示館からスロープを下る途中、斜面に足を踏み入れると、切株の根元に細い糸状にからみあったコケが、淡緑色～黄緑色のマットをつくっています。

茎は下向きに這い、不規則に分枝し、長さは1cm前後、葉を含めても幅約0.5mmと細く微細なコケです。

葉は、大きさ0.2～0.6mmで、卵円形～円形でくぼみ、葉先は尖っています。葉の縁は目立たない小さな鋸歯があります。



エダウロコゴケモドキ

学名の^{フォーリエラ}*Fauriella* は、このコケを日本で最初に採集したフランスの宣教師フォーリーを記念したものです。

又、和名はタイ類クサリゴケ科のウロコゴケに似ていることから名付けられました。(山根)



エダウロコゴケモドキの拡大

研修会のご案内

- | | |
|--|--|
| ○ 4月 5日(日)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品 100円 | 10:00～15:00 レストハウス裏庭
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 4月 10日(金)『早春の写真教室』
散策路を歩きながら植物の撮影について学びます
※要予約(先着 15名)、無料、カメラ持参 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○ 4月 11日(土)『山菜講座』
山菜の種類や生態の講義。試食はありません
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 学習室 集合
講師:森林インストラクター
長井 稔 |
| ○ 4月 12日(日)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品 100円 | 10:00～15:00 レストハウス前
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 4月 12日(日)『ネイチャーゲーム』
～自然と遊ぼう～
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00～15:00 レストハウス前
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 4月 17日(金)『4月の植物観察会』
散策しながら植物を観察します
※自由参加、無料 | 10:00～12:00 管理事務所前 集合
講師:元NHK文化センター
アシスタント 上村 恭子 |
| ○ 4月 19日(日)『立石山トレッキング』
距離約 4.0km、やや健脚向き
※要予約(先着 15名)、無料、軽食・雨具持参、雨天中止 | 10:00～12:30 レストハウス前 集合
講師:緑化センター職員 |
| ○ 4月 29日(水・祝)『自由工作塾』
木の実や枝を使って自由に工作しよう
※自由参加(随時受付)、1作品 100円 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:緑化センターボランティア
ふれあい湧 |
| ○ 4月 29日(水・祝)『ネイチャーゲーム』
～自然と遊ぼう～
自然の中での遊びを体験します
※自由参加(随時受付)、無料 | 10:00～15:00 イベント会場
講師:広島市
シェアリングネイチャーの会 |
| ○ 4月 29日(水・祝)『たねダンゴ®を作ろう』
草花のたねダンゴ作り挑戦しよう
※現地受付(各先着 20名)、材料費 200円 | 1回目 11:30～ イベント会場
2回目 13:40～ 同上
講師:みずえ緑地 |

♪☆ お知らせ・ご案内 ☆♪

【車両通行規制のお知らせ】

～4月29日(水・祝)の土、日、祝日 多目的広場～第5駐車場(4/29は第3・4駐車場まで)

・ひろしま遊学の森 スタンプラリー 2026 春 ～5月17日(日)

緑化センターと森林公園の両園でスタンプを集めて景品ゲット!

・さくら祭り 2026 ～4月19日(日)

さくらクイズに参加して景品ゲット
期間中、早咲きから遅咲きのサクラ約60種類が楽しめます

・さくら祭り お楽しみイベント 4月12日(日)10:00～15:00

～八重ざくらを楽しもう～ 場所:レストハウス前

・第30回 みどりの集い 4月29日(水・祝)10:00～15:00

場所:多目的広場、(雨天の場合 詳細はH.Pなどでご確認ください)



◎展示会

場所:レストハウス (ボード展示)

・緑化センターのさくら写真展 ～4月19日(日)